



NPO PTPL “ともいき” 便り No. 182

令和元年（2019年）11月8日発行

■立冬（りっとう） 11月8日から11月21日までの節気

「立冬」の節気です。今年も早くも暦の上では冬の到来です。10月は大きな台風が2つ関東を中心に上陸し、甚大な被害を引き起こしました。

改めて令和の時代も、日本は大自然の恵みを受けるとともに、自然の驚異に立ち向かわなければならぬのでしょうか？ これだけ科学技術の進歩・発展する現代ですが、人知を超えた何かがあるのか、自然に対する考え方が劣化しているのか、先人の自然への対応を、ちょっと立ち止まって考える時ではないでしょうか。

さて、令和時代幕開けの締めくくりとして、11月14日（木）15日（金）の両日、新天皇が新穀を神々に供え、国の安寧と五穀豊穡を祈る儀式で、稲作農業を中心とする収穫儀礼に根差すものであり、歴代天皇が一世に一度行ってきた皇室行事である「大嘗祭」が執り行われます。

「大嘗祭」の舞台は、皇居・東御苑に建設されている「大嘗宮（だいじょうきゅう）」です。「大嘗宮」は、大小約40棟もの建屋で構成されます。その中でも、天皇が湯あみと着替えをする廻立（かいりゅう）殿、その年に収穫された稲の初穂を供える悠紀（ゆき）殿と主基（すき）殿は、合わせて主要三殿と呼ばれています。

國學院大學によると、「大嘗祭で供えられる神饌には、ウミガメの甲羅を焼いて占う「亀卜（きぼく）」で選ばれる悠紀（ゆき）・主基（すき）2つの地域（今回は茨城と京都）で収穫された米と、その米から作られる「黒酒（くろき）」「白酒（しろき）」が知られる。加えて、奈良や京都といった内陸の都では入手しづらかった海産物や、阿波（徳島県）の麻織物「匳服（あらたえ）」と三河（愛知県）の絹織物「繪服（にぎたえ）」などの地方産品もある。これは、列島を挙げて一代一度の神祭りを協賛することを示すものだという事。

さらに、庶民の食べ物である粟が含まれることに注目。米は天照大神からの頂き物で大切なものとして供えられるが、災害対応や国民の食料を守るため「粟も順調に育ててください」との祈りがもう一つ入っていると思われる。中世の祝詞に見られる禍を鎮めるための祈りも含め、災害が多い列島で共同体を維持するための「想い」が組み込まれているのではないかと解説されています。まさに天皇は無私で国民の安寧と世界の平和を願う祈りの方であることを感じます。

さてこの節氣中の行事として「酉の市」があります。

今年の「酉の市」は、11月8日（金）の「一の酉」、11月20日（水）の「二の酉」となり、「三の酉」はありません。

東京では浅草の「鷲神社・長國寺」、新宿の「花園神社」、府中の「大國魂神社」は規模が大きく、関東の三大酉の市といわれています。特に鷲神社と長國寺の2つの寺社が隣り合わせで酉の市を開催し、鷲神社と長國寺の両方の「おとりさま」にご利益をお願いできる、「神と仏の酉の市」として知られています。

景気の先行きが不透明な今、今年は例年以上に多くの商売関係者でにぎわうことでしょう。私も、久しぶりに酉の市に行こうと思っています。

15日（金）は「七五三」。15日（日）は「将棋の日」です。八代将軍徳川吉宗がこの日を「お城将棋の日」と定め、御前対局を行わせたという史実に基づき、日本将棋連盟が1975年（昭和50年）に制定しました。

最近、藤井聡太氏の出現で将棋界も活気が出ているようです。

佐藤 誠（NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局）

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」

●台風15号、19号、20号、21号を顧みて。

四季の変化に富んだこの国において、私たちを取り巻く自然は、さまざまな恩恵をもたらすとともに、避けがたい災禍を引き起こしてきました。

日本列島を襲う異常気象や台風・地震・火山の噴火・洪水などは、国土の損壊、建物の崩壊、人命の亡失などさまざまな甚大な被害を与えました。

現在、科学・技術（人工気象衛星、コンピューターなど）の進歩により、これだけの台風の予知能力が上昇してもなお甚大な被害が起こります。自然のすさまじさに驚くばかりです。

現代社会において、改めて、自然への畏怖・畏敬、祈りと感謝の念を持ち、安心・安全で豊かな生活を支える環境（強靱なる国土）をつくりあげるところに、真の意味における「人と自然の共生（ともいき）」を基本とする、国土の再生と文化・文明の発展があるに違いありません。

この時代、日本とは何か、日本人とは何か、そして、その心は何かを改めて問われています。私たちは、自らが生きるこの日本をもっと知りたいと思っているのです。

日本 2019 ジャパネスク

日本の歴史を学ぼう。

「もっと知りたい。これが日本、これも日本。」

勝田 祥三（NPOPTPL 理事長）

■事務局便り

ラグビーワールドカップも日本チームの大活躍もあり、大盛況のうちに南アフリカの優勝で幕を閉じました。ヨーロッパ主流のラグビーがアジア初の日本開催に懸念の声もありましたが、参加選手・大会関係者のほとんどが日本での開催を喜び、感動したようで、すべての面で記録づくめの大会となりました。来年は東京オリンピック・パラリンピック、参加国の選手たちにはどのような感動が生まれるのでしょうか。楽しみです。

- 日本というものを基盤において活動する NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/>

「タピラス」：<http://www.tapirus.tv/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」

<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

- 会員募集のご案内

NPO 活動（ジャパネスク運動）を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしく申し上げます。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

電話：03-6432-5911 FAX：03-6432-5912 Email：info@ptpl.or.jp